

ZoomRooms 内蔵サウンドバー

VB370A

ユーザーマニュアル

米国連邦通信委員会（FCC） 電波干渉に関する声明

本装置は、FCC 規則第 15 部に基つき、クラス A デジタル機器の制限に適合していることが試験により確認されています。

これらの制限は、商業環境で本装置を使用した場合に、有害な電波干渉を防止するための合理的な保護を提供することを目的としています。

本装置は高周波エネルギーを発生・使用・放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

住宅環境で本装置を使用した場合、有害な電波干渉が発生する可能性が高く、その場合、使用者の責任と費用において対策を講じる必要があります。

FCC 注意事項：

本装置の適合性について責任を負う当事者から明示的に承認されていない変更または改造を行った場合、本装置を使用する権限が無効になることがあります。

本装置は FCC 規則第 15 部に準拠しています。

本装置の動作は以下の 2 条件を前提としています。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こさないこと。
2. 本装置は、誤動作の原因となる可能性のある干渉を含め、受信したいかなる干渉も受け入れること。

本クラス A デジタル機器は、カナダ ICES-003 規格に準拠しています。

警告

本製品はクラス A 製品です。家庭環境で使用すると電波干渉を引き起こす可能性があり、その場合、使用者が適切な対策を講じる必要があります。

注意

誤った種類の電池と交換した場合、爆発の危険があります。
使用済み電池は、指示に従って廃棄してください。

PSTI 準拠声明

以下の Web サイトをご参照ください。

<https://www.aver.com/product-security-advisory>

免責事項

本書の内容、その品質、性能、商品性、または特定目的への適合性について、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証または表明も行いません。

本書に記載されている情報は信頼性を確保するために十分確認されていますが、誤りに対する責任は負いません。

本書に含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。

いかなる場合においても、AVer Information Inc. は、本製品または本書の使用または使用不能に起因する、直接的、間接的、特別、付随的、または結果的損害について、たとえその可能性について通知されていた場合でも、一切の責任を負いません。

商標について

「AVer」は AVer Information Inc. の商標です。

本書に記載されているその他の商標は、機能説明のみを目的として使用されており、それぞれの会社に帰属します。

著作権

© 2025 AVer Information Inc. 無断転載を禁じます。

2026 年 3 月 19 日

本書のすべての権利は AVer Information Inc. に帰属します。

事前の書面による許可なく、本書の全部または一部を複製または伝送することは禁止されています。すべての情報および仕様は、予告なく変更される場合があります。

Android は Google LLC の商標です。

<https://developer.android.com/distribute/marketing-tools/brand-guidelines>

VCCI-A

この装置はクラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

(注) 本製品同梱の電源ケーブルは本製品同梱の電源アダプタでのみ使用してください。本製品同梱の電源ケーブルは他の電気機器では使用できません。

サポート情報

FAQ、テクニカルサポート、ソフトウェアおよびユーザーマニュアルのダウンロードについては、以下のサイトをご覧ください。

ダウンロードセンター： <https://jp.aver.com/download-center>

テクニカルサポート： <https://jp.aver.com/technical-support>

製品、オプション販売品の購入につきましては、[弊社販売代理店](#)までお問い合わせください。

製品の修理お申し込みは、製品を購入された[弊社販売代理店](#)までお問い合わせください。

目次

概要	1
主な特長	1
パッケージ同梱物	2
オプション販売品	2
各部名称	3
状態表示 LED	4
赤外線操作リモコン	5
機器の設置	7
壁掛けマウントによる設置	7
TV VESA マウント（オプション品）による取付	8
はじめに	11
電源のオンオフについて	11
機器の操作	11
初回セットアップ	11
Android ランチャー	11
動作モードの切り替え	12
カメラプリセットの保存／呼び出し	13
周辺機器との接続	14
モニターの配置を変更する	16
ZOOM ROOMS モード	24
システム要件	24
会議を開始する	24
Zoom Rooms Controller とのペアリング	24
会議中の機能	27

コンテンツ共有	27
カメラ切り替え	27
カメラモード	29
ZOOM ROOM の BYOD 機能を使用するには	30
AVER BYOD モード	31
AVER BYOD の使用方法	31
WEB 管理画面へのアクセス	33
ZOOM ROOMS モードでの システム設定	33
AVER BYOD モードでの ANDROID ランチャー	34
WEB インターフェース	35
ユーザー名とパスワードの変更	36
ROOM MANAGEMENT アプリ（WINDOWS、MAC、CP10 G2）	37
Windows と Mac	37
CP10 G2 タッチコントローラー	38
システム設定の構成	40
PTZ コントロール	40
プリセットの保存・読み込み・削除	41
ファームウェア更新	42
設定	43
トラッキングモード	46
ネットワーク	49
システム	50
VB370A の動作モード選択	52
トラブルシューティング	53

概要

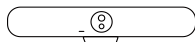
VB370A は、現代の会議室向けに設計された Android™ ベースのビデオバーで、PTZ カメラ・マイク・スピーカーを一体化したオールインワンモデルです。

デバイス単体で会議を開始できる **Zoom Rooms モード** を搭載しているほか、**AVer BYOD モード** に切り替えれば VB370A の高品質な音声・映像機能を USB デバイスとして利用できます。

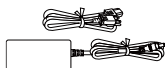
主な特長

- ・ Zoom Rooms 機能内蔵
- ・ CP10G2 と連携したタッチ操作対応
- ・ AVer BYOD（USB デバイスモード）対応
- ・ 複数のシステム設定アクセス方法
- ・ Android ランチャーによる UI 表示
- ・ Web インターフェース（Web 管理画面）
- ・ Room Management アプリ（Windows、Mac、CP10 G2）

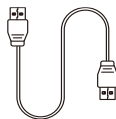
パッケージ同梱物



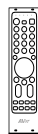
カメラ本体



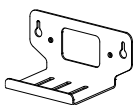
電源アダプタ
電源ケーブル



HDMI 2.0 ケーブル



赤外線操作リモコン



壁掛け金具



1/4"-20 L=7.5
mm
マウント固定ねじ
(x2)



壁取付金具
穴開けガイド用紙

オプション販売品



増設マイクスピー
カー (10m / 20m
ケーブル付属)



増設マイク
(10m / 20m
ケーブル付属)



CP10 G2
タッチコントローラ
-※

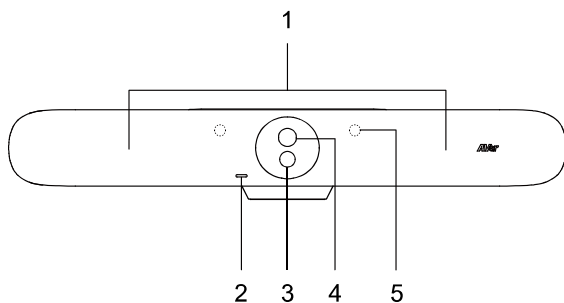


TV VESA マウン
ト
取付金具

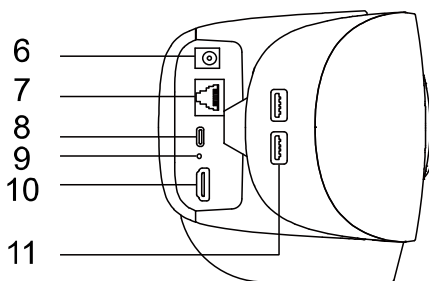
オプション販売品の詳細は弊社販売代理店までお問い合わせください。

※本製品は、CP10 G2 とのセット販売になります。

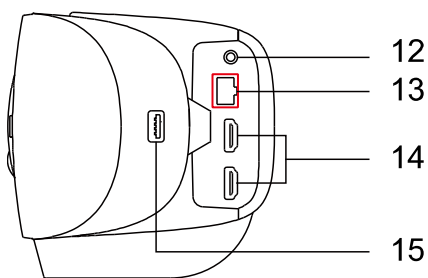
各部名称



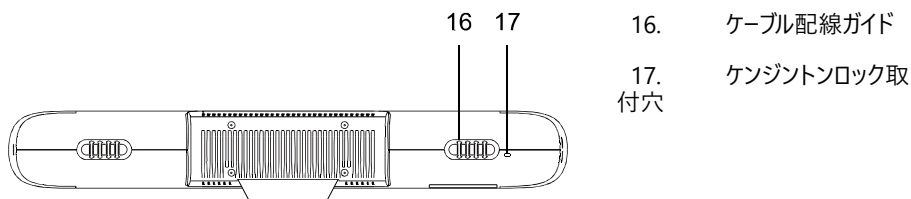
1. 内蔵マイク
2. 状態表示 LED
3. カメラレンズ
4. カメラレンズ
5. 赤外線受光部



6. 電源差込口
7. LAN 端子
8. USB type-C (BYOD 用)
9. リセットボタン
- ※ 3 秒間長押し後、再起動
10. HDMI 入力端子
11. USB 3.0 Type-A 端子 (x2)



12. Phone In 入力端子
13. 増設マイク差込口(赤色)
14. HDMI 出力端子 (x2)
15. メンテナンス用 USB 端子



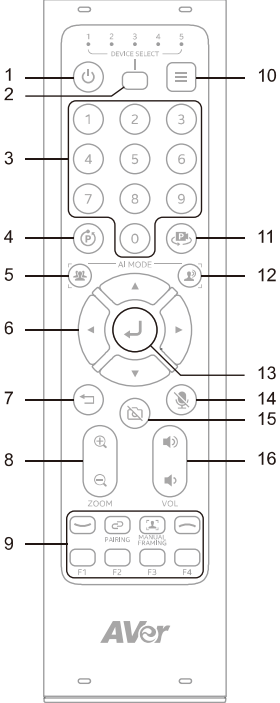
状態表示 LED

LED の色	カメラの状態
赤点灯	起動中
白点灯	待機中
青点灯	カメラ映像 出力中
赤点灯	マイクミュート中
オレンジ点灯	スリープ中

赤外線操作リモコン

注意: VB370A が Zoom Rooms モードで動作中、本リモコンは使用できません。

音量調整、ミュート、カメラ操作などの操作は、全て CP10G2 の Zoom Rooms Controller アプリから行います。

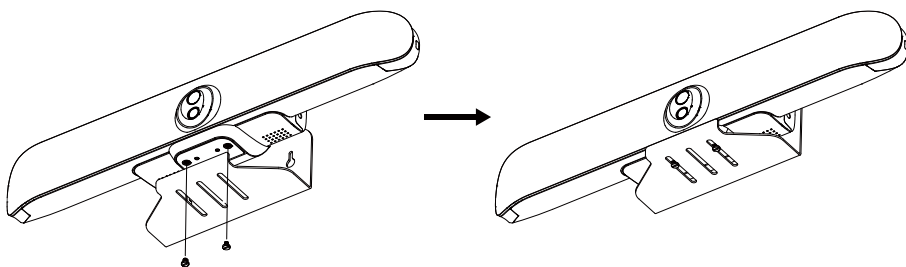
	ボタン名称	機能
	Power	本製品では使用しません。
	2. カメラ選択 (Camera Select)	*デフォルトでは、カメラを操作するための選択は不要です。カメラに番号を割り当てるには、Android ランチャーまたは Web インターフェースから「システム (System) > カメラバインド (Camera Binding)」に進んでください。
	3. 数字ボタン	プリセットの保存: 数字 (0～9) を長押しします。 プリセットの読み込み: 数字 (0～9) を押しします。
	4. コンビネーションキー	P + 1: WDR (ワイドダイナミックレンジ) のオン/オフを切り替えます。 P + 2: プリセット設定 (Set Preset) のオン/オフを切り替えます。 P + 4: 強制的にスリープモードに入ります。
	5. スマートフレーム (Smart Frame)	1 回押す: 画面上のグループ全体を一度にフレーム内に収めます。 長押し: トラッキング (追尾) モードを順番に切り替えます。
	6. 矢印ボタン	カメラ位置を上下左右に動かします。 メニュー画面時の操作を行います。AVer 通話モード (AVer Call Mode) でインターフェースを操作します。
	7. 戻る (Back)	前の画面に戻ります。

8. ズーム イン/アウト (Zoom In/Out)	ズームイン（拡大）またはズームアウト（縮小）します。
9. ファンクションボタン (Function Buttons)	*(通話ボタン): 電話に出ます。 (終話ボタン): 通話を終了し、会議から退室します。 F1: オーディオフェンス（Audio Fence）のオン/オフを切り替えます。 F2: 長押しすることで、DHCP と固定 IP（Static IP）を切り替えます。 F3, F4: 割当機能なし)
10. メニュー（Menu）	AVer BYOD モード時に Android ランチャーを開きます（AVer 通話モードおよび Zoom Rooms モードでは使用できません）。
11. プリセット読み込み (Load Preset)	押すごとに、設定済みのプリセットを番号の若い順に切り替えます。
12. オーディオトラッキング (Audio Tracking)	長押しすることで、オーディオトラッキング（音源追尾）モードを順番に切り替えます。
13. 決定（Enter）	押すと、現在の AI 機能が画面中央に（字幕）に表示されます。 設定画面時、選択中の項目を決定します
14. ミュート (Mute)	マイクのミュート（消音） ミュート解除
15. カメラオフ (Camera Off)	該当なし (N/A)
16. 音量 (Volume)	音量を上げる、または下げます。

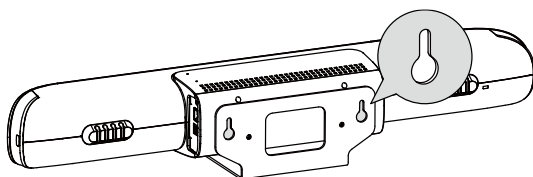
機器の設置

壁掛けマウントによる設置

1. 壁掛け用の穴あけガイドを使用して、壁に取付穴の位置をマーキングし、取り付ける壁に穴を開けます。
2. 壁にねじ 2 本とプラスチックアンカーを取り付けます（※ねじ/アンカーは製品には同梱されていません）。
 - ・コンクリート壁：M5 × 20 mm セルフタッピングねじ ×2 + プラスチックアンカー ×2
 - ・木製壁：M5 × 20 mm セルフタッピングねじ ×2
3. 付属の脚用ねじ 2 本を使用して、壁掛け金具をカメラ底面に固定します。

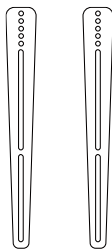


4. 壁に取り付けたねじにカメラを引っ掛け、カメラを設置します。



TV VESA マウント（オプション販売品）による取付

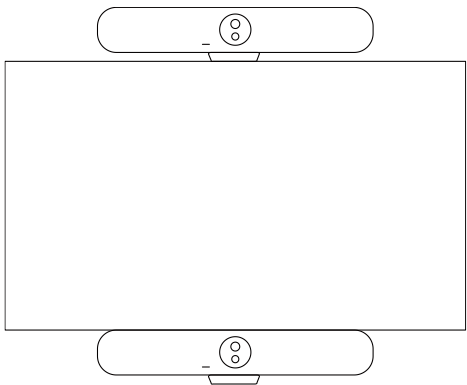
TV VESA マウント（オプション品）同梱物



VESA 取付金具 (x2)

		M5 × 10 mm ねじ		シリコンワッシャー
		M6 × 15 mm ねじ		金属ワッシャー ×2
		M6 × 20 mm ねじ		M6 ワッシャー ×4
		M8 × 20 mm ねじ		M8 ワッシャー ×4
		M8 × 30 mm ねじ		

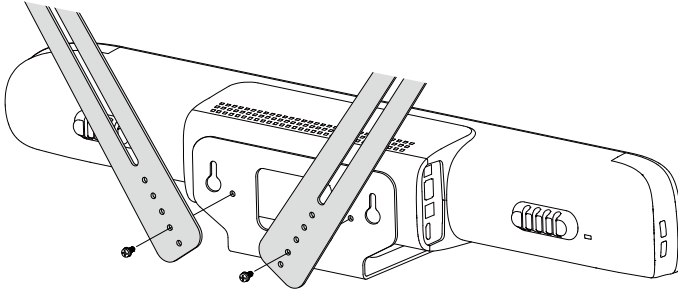
モニターの上または下に取り付ける場合



1. VESA 取付金具 の取付穴の中から、適切な穴を選択します。VESA 取付金具 には 5 つの取付穴 があります。

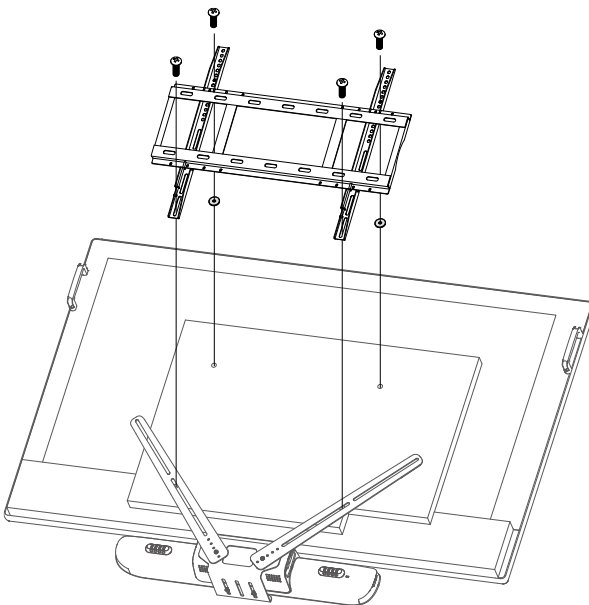
2. 付属の M5 × 10 mm ねじ を使用して、VESA 取付金具 をビデオバー背面に仮固定します。

※角度調整ができるよう、この時点では完全に締め付けしないでください。

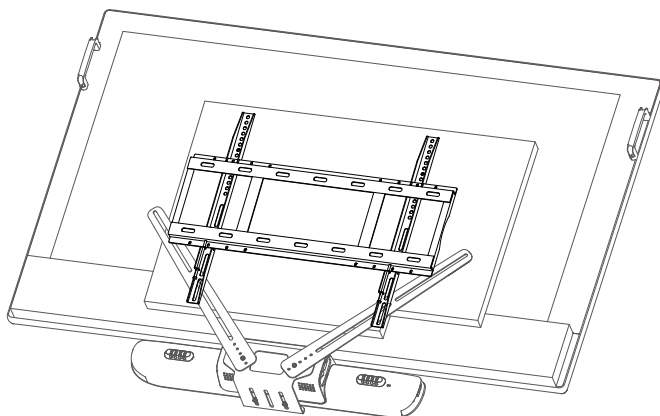


3. TV 用壁掛け金具に挟み込む形で VESA 取付金具を取り付けます。（TV 用壁掛け金具が不要な場合は 手順 5 に進んでください。）

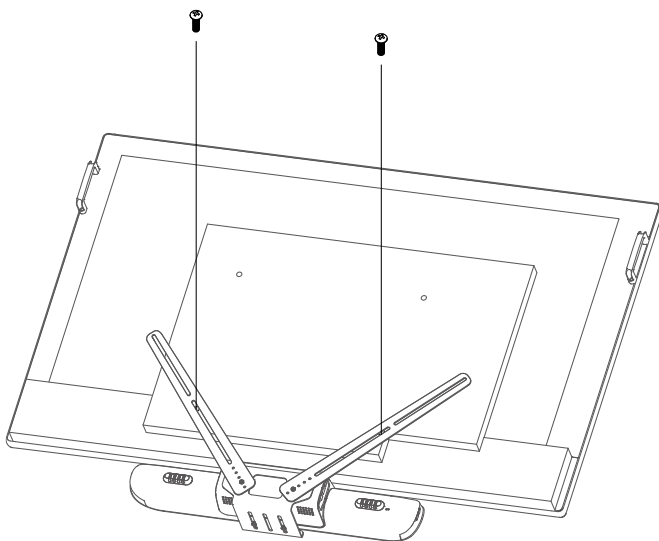
TV 上部の取付穴に金属ワッシャーを配置し、VESA 取付金具 の取付スロットを TV 下部の取付穴に合わせます。



4. 付属の **M6 または M8 ねじ** を使用して、TV 用壁掛け金具を TV 背面に固定し、すべてのねじを締め付けます。



5. VESA 取付金具 の取付スロットを TV 下部の取付穴に合わせ、付属の **M6 または M8 ねじ** を使用して TV 背面に固定し、すべてのねじをしっかりと締め付けます。



はじめに

電源のオンオフについて

本製品は電源に接続すると自動的に起動します。
電源ボタンは搭載されていないため、電源をオフにする場合は電源ケーブルを抜いてください。

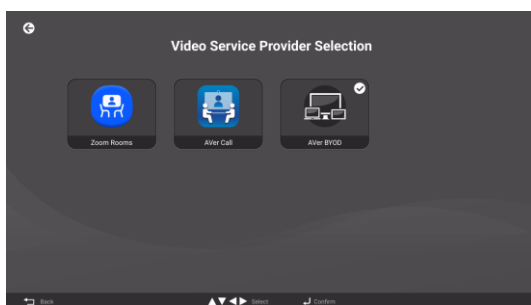
機器の操作

付属のリモコン、または本体の USB-A ポートのいずれかにマウスを接続することで、本製品を操作できます。

初回セットアップ

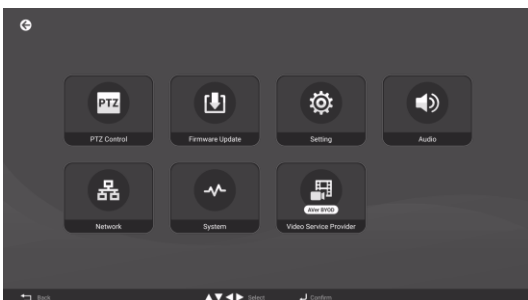
本製品を初めて起動すると、以下の設定を行います。

1. 設置場所、タイムゾーン、システム言語の設定
2. 動作モードの選択（Zoom Rooms または AVer BYOD）



Android ランチャー

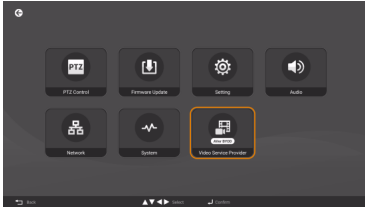
Android ランチャーは、初期セットアップ完了後にモニターへ最初に表示される画面です。
ランチャー画面から、各種システム機能へ簡単にアクセスできます。



動作モードの切り替え

◆ Android ランチャーから切り替える場合

1. <インターフェースへのアクセス>の手順に従って、Android ランチャーを開きます。
2. [Video Service Provider] > デバイスの初期パスワード **aver4321** を入力 > [Zoom Rooms] または [AVer BYOD] を選択します。



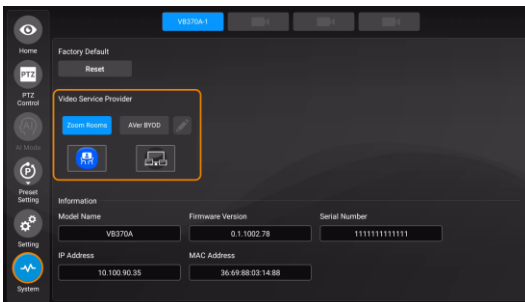
◆ Web インターフェースから切り替える場合

1. <インターフェースへのアクセス>の手順に従って、Web インターフェースを開きます。
2. [System] > [Video Service Provider] > [Zoom Rooms] または [AVer BYOD] を選択します。



◆ タッチコントローラーCP10 G2 Room Management アプリから切り替える場合

1. <インターフェースへのアクセス>の手順に従って、Web インターフェースを開きます。
2. [System] > [Video Service Provider] > [Zoom Rooms] または [AVer BYOD] を選択します。



カメラプリセットの保存／呼び出し

カメラプリセット機能は、あらかじめ設定したカメラの向き（パン／チルト）やズーム位置を記憶し、ワンタッチで呼び出す機能です。会議室内の特定の位置（例：発言者席、ホワイトボード、演台など）を素早く映したい場合に便利です。

VB370A では、最大 10 個（番号 0～9）のプリセットを登録できます。

操作リモコンによるプリセット登録/呼び出し

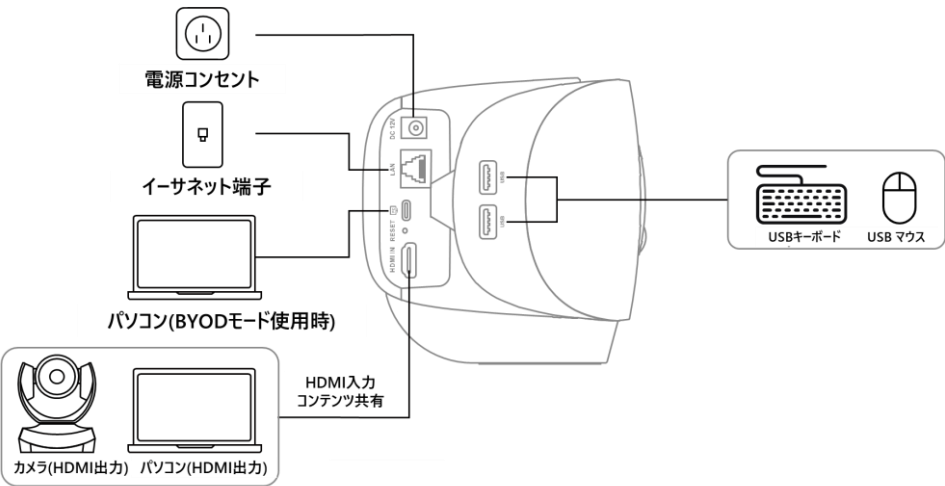
プリセットを保存する場合：リモコンの 番号ボタン（0～9） を長押しします。

プリセットを呼び出す場合：リモコンの 番号ボタン（0～9） を短く押します。



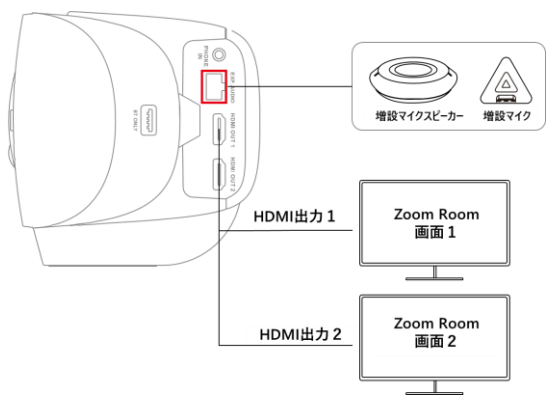
周辺機器との接続

● 本体 左側端子



端子名	機能説明
電源差込口	付属の電源アダプター/電源ケーブルを使用して電源に接続します。
イーサネット端子	Zoom Rooms へのアクセス、またはデバイスの Web インターフェイスにアクセスするために Ethernet ポートへ接続します。 デフォルトのネットワーク設定は DHCP です。 注: VB370A とペアリングする CP10 G2 は、同一のローカルネットワーク (LAN) に接続されている必要があります。
PC 接続用端子 (USB 3.0 Type-C)	パソコンと USB Type-C ケーブルで接続し、VB370A のカメラ/マイク/スピーカー機能を使用します。 注: BYOD モードを有効時のみ有効。
リセットボタン	クリップなどを挿し込み、3 秒間押し続けると再起動します。
HDMI 入力端子	セカンドカメラまたはコンピューターを接続し、コンテンツ共有を行います。
操作用 USB 端子 USB 3.0 Type-A (x2)	・キーボードやマウスなどの周辺機器を接続し、Android ランチャーの操作に使用できます。 ・追加カメラを接続し、Zoom Room で複数ビューを配信できます (最大 2 台まで選択可能)。

本体右側端子



端子	機能説明
Phone In Port	携帯電話を接続し、VB370A を外部スピーカーとして使用します。
増設マイク接続端子(赤)	増設マイクスピーカー、または増設マイクを接続します。 ● 増設マイクスピーカーおよび増設マイクはオプション品です。 ● デイジーチェーン接続には対応していません。
HDMI 出力端子 1 最大解像度 4K/30fps	1 台目の HDMI モニターを接続します。 表示内容は動作モードにより異なります。 ・Zoom Rooms: Zoom Rooms Controller アプリ用のペアリングコードを表示します。 ・AVer BYOD: HDMI、USB-C、または Android ランチャーの中から選択した出力ソースを表示します。
HDMI 出力端子 2 最大解像度 4K/30fps	2 台目の HDMI モニターを接続します。 表示される内容は動作モードにより異なります。 ・Zoom Rooms: Zoom Rooms で共有されているコンテンツを表示します。 コンテンツが共有されていない場合、または追加カメラ映像がない場合は、Zoom Rooms の背景画像が表示されます。 ・AVer BYOD: HDMI または USB-C のいずれか、選択した出力ソースを表示します。
USB 2.0 TypeA 端子 BT Only	機能割当なし

- AVer CP10 G2 (タッチコントローラー)



注意：

電源アダプタとLAN端子のいずれか一方のみから給電してください。
同時に給電を行うと機器故障の原因となります。ご注意ください。

モニターの配置を変更する

複数のモニターを使用している場合、以下のいずれかの方法でモニターの配置を変更できます。

- **Zoom Rooms:**

Zoom Rooms Controller より会議を開始または参加し、**[View]** をタップしてレイアウトを選択します。

または、Zoom Rooms へのアクセス権を持つアカウントオーナー、管理者、もしくはユーザーとして Zoom の Web ポータルにサインインし、

[Room Management] > **[Zoom Rooms]** > **[Display]** へ進みます。

- **AVer BYOD:**

Android ランチャーから **[Video Service Provider]** を選択し、デバイスパスワード（初期値：**aver4321**）を入力後、

[AVer BYOD] を選択し、各モニターの出力ソースを変更します。

テレビ会議モード(AVer Call モード)

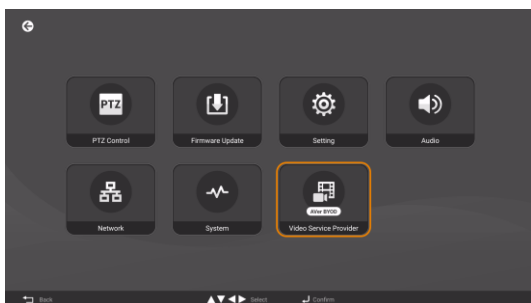
AVer Call モードを使用すると、会議アプリを介さずに、H.323 または SIP 通信プロトコルを使用してデバイス間で直接通話を行うことができます。

H.323: 従来のビデオ会議ネットワークで一般的に使用されている H.323 ゲートキーパーや多地点接続装置（MCU）を介して、別のデバイスを呼び出します。

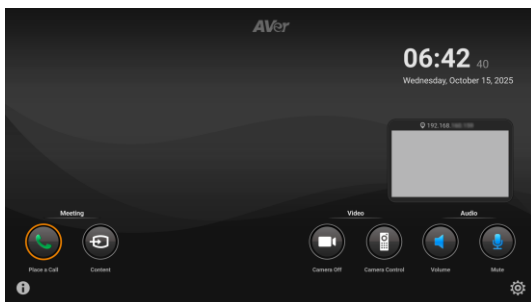
SIP: 主に SIP サーバーやレジストラを介し、SIP アドレスを使用して別のデバイスを呼び出します。

通話を開始する

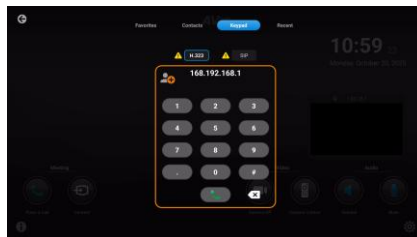
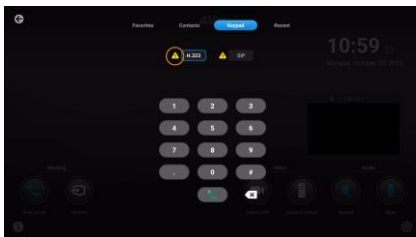
1. メニュー画面の、[ビデオサービスプロバイダー] へ移動し選択後、パスワードが要求されます。デフォルトのデバイスパスワード（aver4321）を入力して、[AVer Call] を選択します。



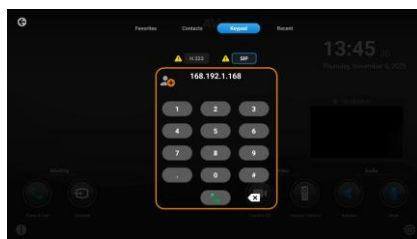
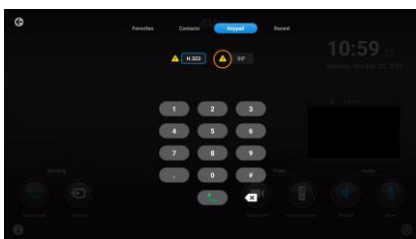
2. [発信] を選択し、以下のいずれかの操作を行います。



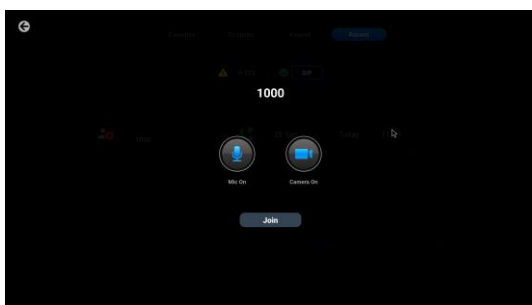
- **H.323 発信:** H.323 サーバーの横にある三角アイコン  を選択し、発信先デバイスの登録アカウントを入力します。または、[H.323] を選択し、キーパッドを使用して発信先デバイスの IP アドレスを入力します。



- **SIP 発信:** SIP サーバーの横にある三角アイコン  を選択し、発信先デバイスの登録アカウントを入力します。または、[SIP] を選択し、キーパッドを使用して発信先デバイスの IP アドレスを入力します。



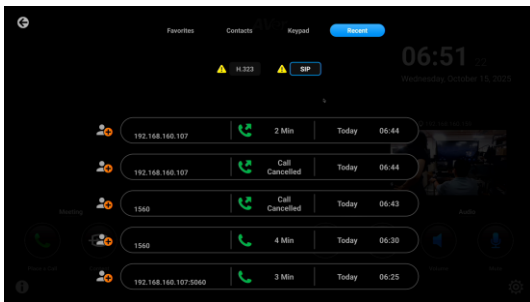
3. マイクとカメラのオン／オフを選択し、[参加] を選択します。



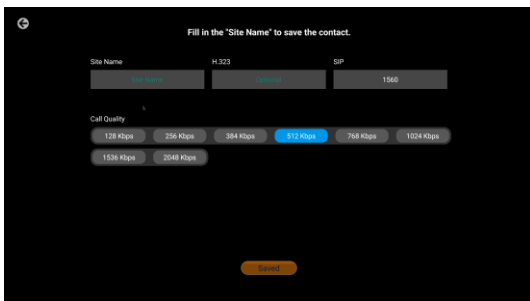
連絡先と発信履歴の管理

[発信] を選択し、以下のいずれかの操作を行います。:

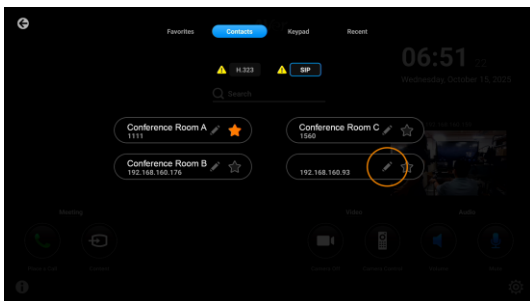
- 発信履歴の表示: [履歴] に移動します。



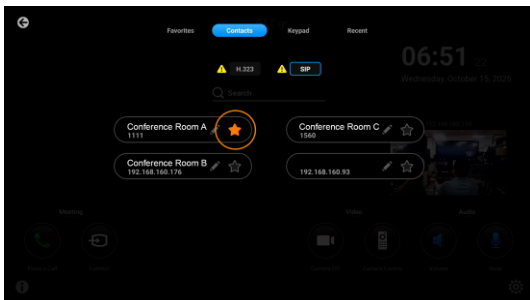
- 連絡先の追加: [履歴] に移動し、デバイスの横にあるオレンジ色のプラスアイコン⁺を選択して、そのデバイスを連絡先に追加します。デバイスを識別しやすいように拠点名を入力し、通話品質を選択します。追加されたデバイスは [連絡先] に表示されます。



- 連絡先の編集: [連絡先] に移動し、鉛筆アイコン[✎]を選択して連絡先を編集します。



- お気に入りの登録: [連絡先] に移動し、星アイコン☆を選択してお気に入りに登録すると、素早くアクセスできるようになります。お気に入りに登録されたデバイスは [お気に入り] に表示されます。



ビデオ通話中の機能

通話中にモニターの下部にカーソルを合わせると、画面上にコントロールパネルが表示されます。

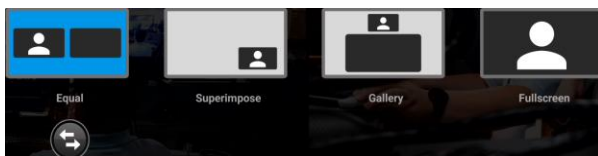
コンテンツの共有

[コンテンツ] をクリックすると、HDMI 経由の映像をモニターに共有できます。

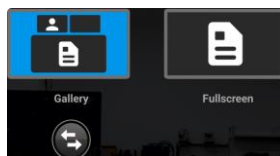


ビデオレイアウトの切り替え

[レイアウト] をクリックし、切り替えアイコンをクリックしてレイアウトを切り替えます



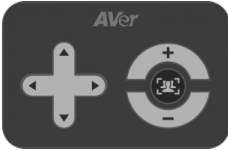
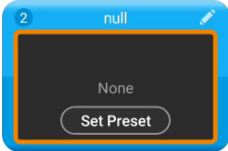
コンテンツ共有なし



コンテンツ共有時

ビデオとオーディオの制御

カメラ位置の調整、最大 10 個のプリセット（0～9）の保存と呼び出し、音量の調整、またはマイクのミュート／ミュート解除を行います。

 カメラオフ	デバイスのカメラをオフにします。
 カメラ制御	 - パン、チルト、ズームの操作。  SmartFrame: 参加者全体を自動で画面中央にフレーミングします。  プリセットの保存: 保存したいプリセット（サムネイルエリア）をクリックし、「プリセット設定（Set Preset）」をクリックします。 プリセットの呼び出し: プリセット（サムネイルエリア）をクリックします。
 音量ボタン	音量を上げる／下げる。
 マイクボタン	マイクのミュート（消音）／ミュート解除。

AVer Call の設定



- **システム設定**  H.323、SIP、ファイアウォールの設定、音声・映像の最大速度制限の設定、AVer Call の工場出荷時設定へのリセット、連絡先および発着信履歴の消去を行います。
- **情報**  **(Info):** デバイスやネットワークの詳細情報、および通話中・プレゼンテーション中のリアルタイム統計を表示します。

Zoom Rooms モード

Zoom Rooms モードでは、パソコンを使用せずに、本製品単体で Zoom ミーティングを実行できます。デバイスをネットワークに接続し、Zoom Rooms アカウントでサインインすると、接続されたタッチパネル、タブレット、またはコントローラーインターフェースを使用して、会議の開始、参加、管理を行うことができます。

システム要件

● Zoom Rooms ライセンス

無料の 30 日間トライアル、または Zoom アカウントに紐づいた有償ライセンスが必要です。

※通常の Zoom ミーティングライセンスとは異なります。

● Zoom Rooms Controller (ZRC) アプリ

Zoom Rooms をフル機能で操作するには、ZRC アプリが必要です。以下のデバイスで動作します。

● AVer CP10 G2 タッチパネル

iPad または Android タブレット

Zoom デスクトップアプリ（[アプリ] > [ルームコントローラー]）

Zoom Web ポータル（※一部機能のみ対応）

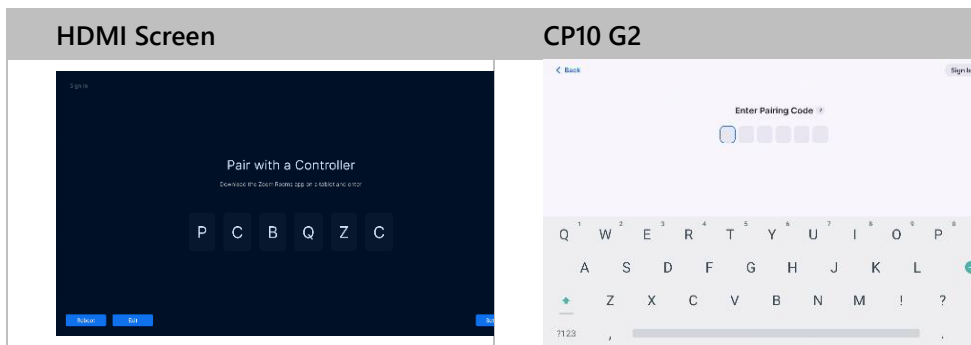
会議を開始する

Zoom Rooms Controller とのペアリング

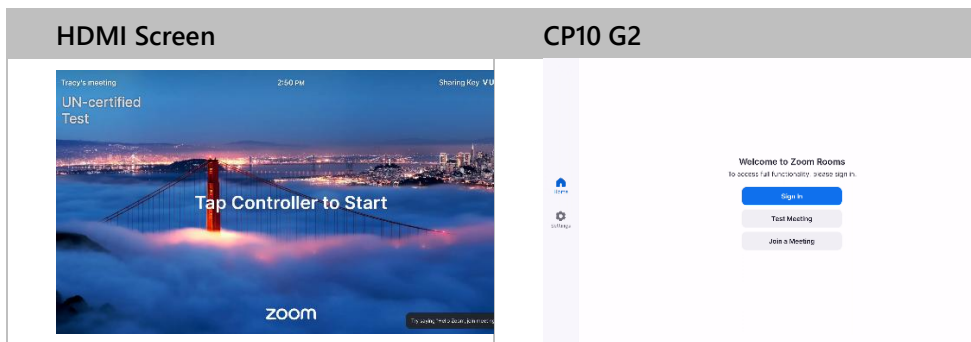
注意: 本手順および画面例は AVer CP10 G2 タッチパネルを例の説明になります。

1. 本体デバイスとタッチパネルが、**同一のローカルネットワーク（LAN）**に接続されていることを確認します
2. 付属の HDMI ケーブルを使用して、本体の **HDMI 出力 1** 端子にモニターを接続します。
モニターに **ペアリングコード** が表示されます。
3. タッチパネルで Zoom Rooms Controller アプリ を起動し、[Zoom Rooms Controller] を選択して [Next] をタップします。

4. コントローラーに表示されている入力画面で、モニターに表示された **ペアリングコード** を入力します。



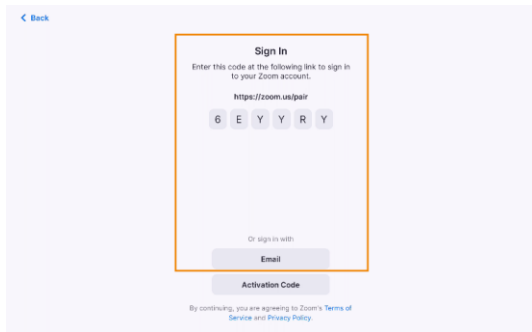
5. これで、テストミーティングの開始や会議への参加が可能になります。



6. コントローラーで **〔Sign In〕** をタップし、Zoom Rooms にサインインします。

● **オーナー／管理者／ユーザーとしてサインインする場合**

Zoom Rooms の名前をタップするか、新しいルームを追加します。

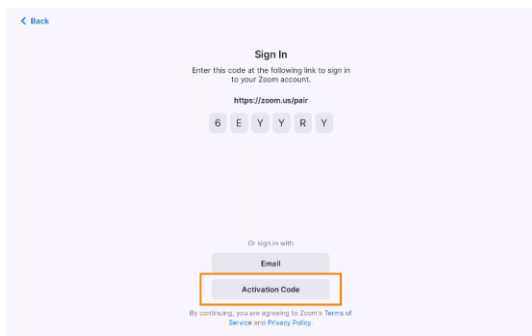
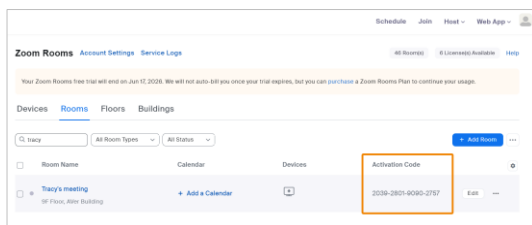


● **アクティベーションコードでサインインする場合**

Zoom Rooms を導入する担当者が管理者でない場合に有効です。

アクティベーションコードは、Zoom Web ポータルで Zoom Rooms を設定した後に発行されます。

Web ポータルで **〔Room Management〕** > **〔Zoom Rooms〕** に進み、該当する Zoom Room の Activation Code を確認し、アクティベーションコードをコントローラー(CP10G2)に入力します。



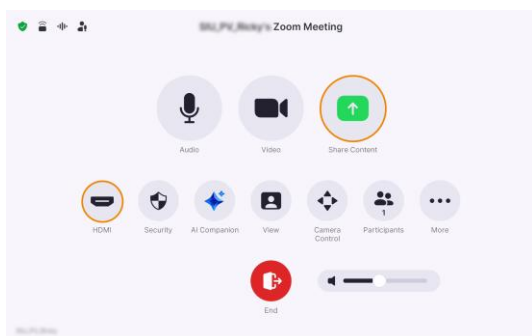
7. デバイスとコントローラーがサインイン状態になります。

会議中の機能

- HDMI 入力からの コンテンツ共有
- VB370A と追加 USB カメラの切り替え
- グループフレーミング、話者追尾、マルチストリームに対応した カメラモード

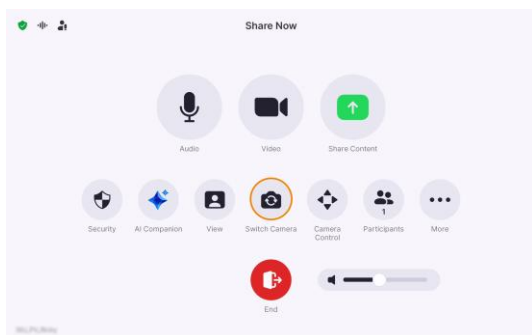
コンテンツ共有

1. カメラまたはパソコンを、本体の **HDMI 入力端子** に接続します。
2. **〔Share to Meeting〕** の表示が出るか、**〔Share Content〕** または **〔HDMI〕** をタップします。 HDMI 入力の映像がモニターに共有表示されます。

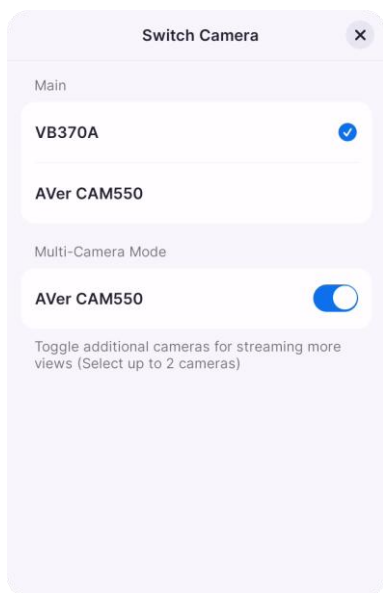


カメラ切り替え

1. 追加の USB カメラを、本体の USB-A 端子 に接続します。
2. **〔Switch Camera〕** ボタンが表示されるので、タップします。



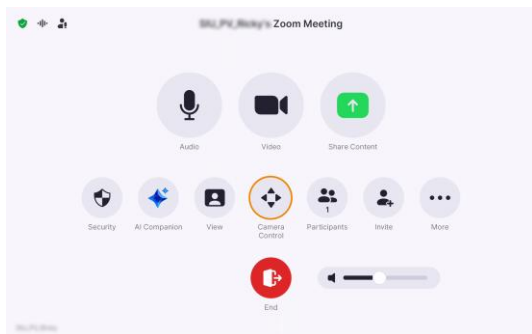
3. メインカメラを切り替え、追加カメラを有効／無効にして、複数の映像を配信できます。



カメラモード

用途に応じて、複数のカメラ制御モードを切り替えることができます。

1. [Camera Control] をタップします。



2. ドロップダウンリストからカメラモードを選択します。

- Manual：パン／チルト／ズームおよびプリセットを手動で操作
- Speaker Focus：発言者に自動的にズーム
- Auto-Framing：参加者全体を自動でフレーミング
- Multi-Focus：各参加者のクローズアップ映像を 1 つの合成映像として表示
- Multi-Stream：参加者ごと（最大 5 人）と全体用に、複数の映像ストリームを送

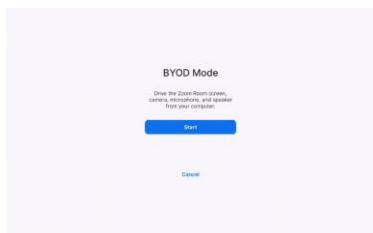
信

Zoom Room の BYOD 機能を使用するには

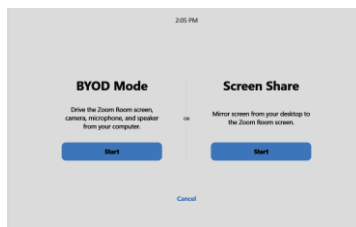
Zoom Rooms には BYOD モードがあり、内蔵の Zoom Rooms システムを一時的にバイパスして、デバイスを USB 周辺機器として使用できます。

USB-C 接続により、VB370A のカメラ／スピーカー／マイク／接続モニターを使用しながら、任意の Web 会議アプリをパソコンから実行できます。会議の主催者が自身のノート PC を使用したい場合に最適です。

1. USB-C ケーブルを使用して、本体の PC ポート にパソコンを接続します。
2. コントローラー(CP10G2) に BYOD モード の案内が表示されます。



接続中の PC が
DP Alt Mode をサポートしない場合

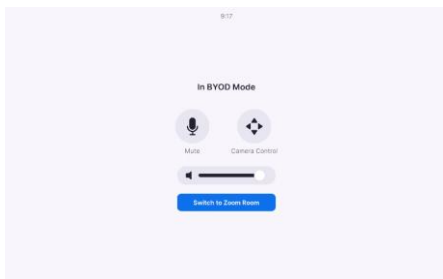


接続中の PC が
DP Alt Mode をサポートする場合

注意:

Zoom Rooms BYOD モードで画面共有を行うには、パソコンおよび USB-C ケーブルが DisplayPort Alternate Mode (DP Alt Mode) に対応している必要があります。DisplayPort ロゴIDを確認するか、デバイスの仕様をご確認ください。

3. 「開始」をタップして Zoom Rooms の BYOD モードに入ります。



4. Zoom Rooms BYOD モードを終了するには、「Zoom Room に切り替え」をタップするか、ケーブルを取り外します。

AVer BYOD モード

AVer BYOD モードを使用すると、デバイスに接続されたカメラ、スピーカー、マイク、モニターをパソコンから利用できます。USB-C ケーブルでデバイスをパソコンに接続すると、パソコン側のサードパーティ製ビデオ会議アプリから、デバイスのカメラやオーディオ機能进行操作できます。

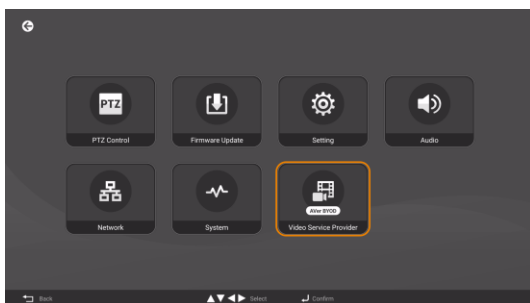
（注）本モード有効時は USB デバイスとして動作、Zoom Room 機能は無効になります。

システム要件

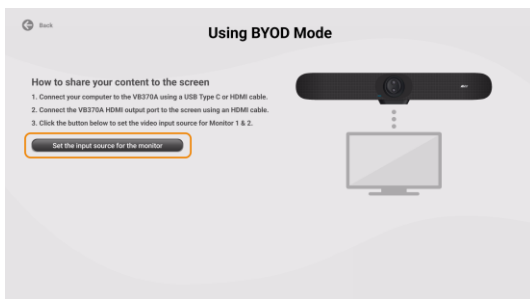
- ・Windows 10 バージョン 1803 以降
- ・macOS 10.12 以降

AVer BYOD の使用方法

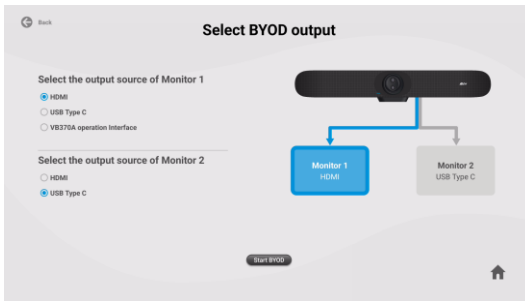
1. Android ランチャーから「Video Service Provider」> デフォルトパスワード **aver4321** を入力 >「AVer BYOD」を選択します。



2. グレーのボタンを選択します。



3. モニター 1（HDMI 出力 1）とモニター 2（HDMI 出力 2）の入力ソースを選択するよう求められます。



4. 選択が完了したら、「Start BYOD」を選択します。

Web 管理画面へのアクセス

以下の複数の方法でシステム設定にアクセスできます：

- Zoom Rooms モードの System Settings
- AVer BYOD モードの Android ランチャー
- Web インターフェース
- Room Management アプリ（Windows、Mac、AVer CP10 G2）

付属リモコンまたは VB370A 本体 USB 端子に接続したマウス/キーボードを使用し操作します。

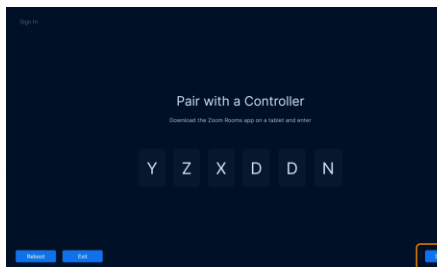
Zoom Rooms モードでの システム設定

システム設定には、ペアリングコード画面または Zoom Room 内からアクセスできます。

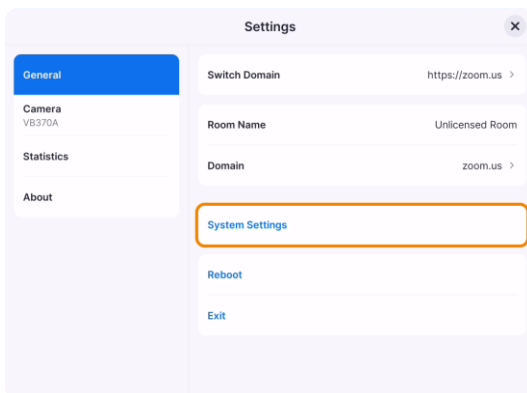
右下の 歯車アイコン⚙️ または Settings を選択 → General → System Settings



Zoom Room 内の画面

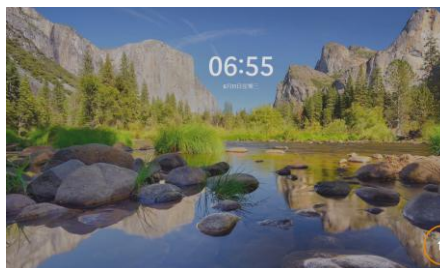


ペアリングコード画面

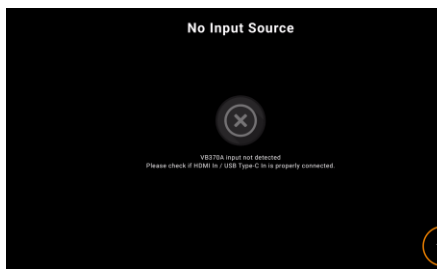


AVer BYOD モードでの Android ランチャー

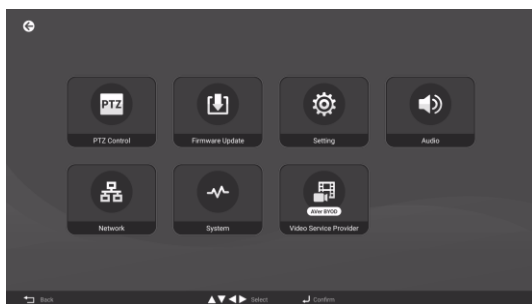
右下の ホームボタン[▲] を選択すると、システム設定にアクセスできます。



入力ありの画面



入力なしの画面

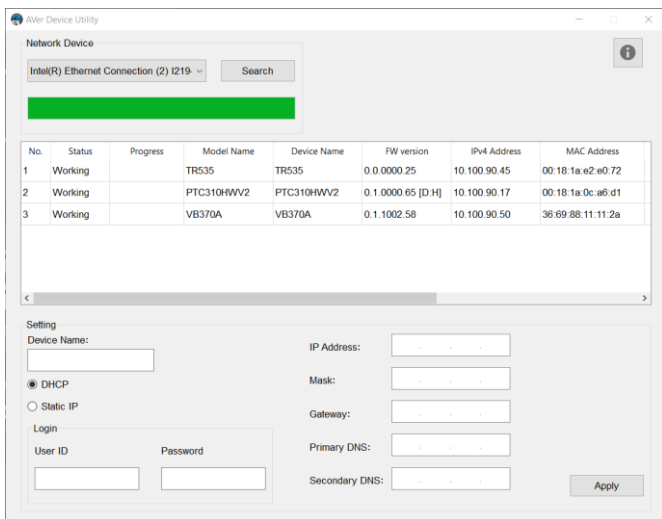


Web インターフェース

デバイスの Web インターフェースにアクセスするには、AVer Device Utility ソフトウェアを使用して IP アドレスを確認します。

注意:

- デバイスのデフォルトネットワーク設定は **DHCP**
- デフォルトのユーザー名／パスワードは **admin / aver4321**



Web インターフェースへのアクセス手順

1. AVer Download Center (<https://www.aver.com/download-center>) から AVer Device Utility をダウンロード・インストールし、起動します。

2. **Search** を選択すると、同一 LAN 上のデバイスが表示されます。

注意：

- デバイスがインターネットに接続されていることを確認してください。
- AVer Device Utility とデバイスは同一セグメント LAN 上にある必要があります。

3. IPv4 Address 列に表示されたデバイスの IP アドレスをダブル選択すると、ブラウザで Web インターフェースが開きます。

ネットワーク設定を DHCP または固定 IP に変更する方法

1. 対象デバイスのチェックボックスを選択
2. Login 欄にデフォルトまたは変更後のユーザー名とパスワードを入力
3. DHCP または Static IP を選択し、必要に応じてネットワーク設定を入力
4. Apply を選択

ユーザー名とパスワードの変更

初回ログイン時はデフォルトパスワード aver4321 を入力します。

その後、ユーザー名とパスワードの変更が求められます。

※ユーザー名とパスワードを同じ文字列にすることはできません。

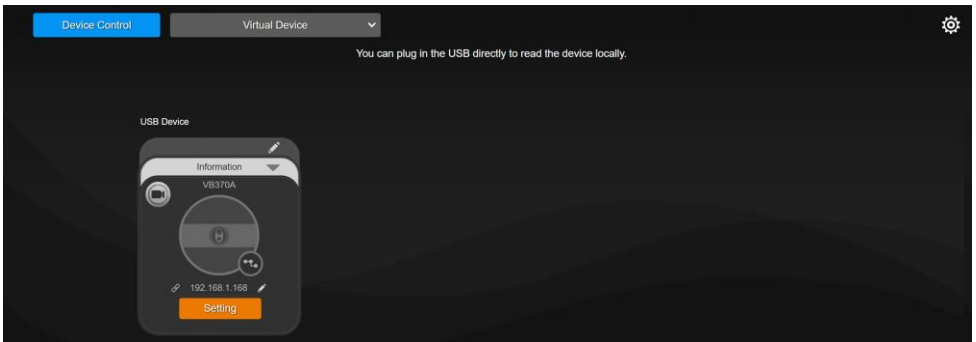
ユーザー名：1～32 文字

パスワード：8～32 文字

大文字、小文字、数字、記号（ !\$%&'()*+,-./<=>?@[¥]^_{}~ ）を組み合わせ使用

Room Management アプリ（Windows、Mac、CP10 G2）

Windows と Mac



1. AVer Download Center (<https://www.aver.com/download-center>) から Room Management（旧 PTZApp 2） をダウンロード・インストールし、起動します。
2. デバイスが AVer BYOD モード になっていることを確認します。
3. USB-C ケーブルでデバイスをパソコンに接続します。接続後、Room Management の Device Control ページ > USB Device にデバイスが表示されます。
4. デバイスカードの Setting を選択してシステム設定を構成します。

CP10 G2 タッチコントローラー

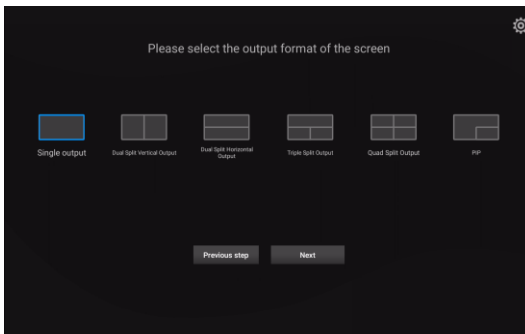
注意:

CP10 G2 タッチパネルは VB370A と組み合わせて使用します。Room Management アプリなど、内蔵アプリの詳細は **CP10 G2 ユーザーマニュアル** を参照してください。

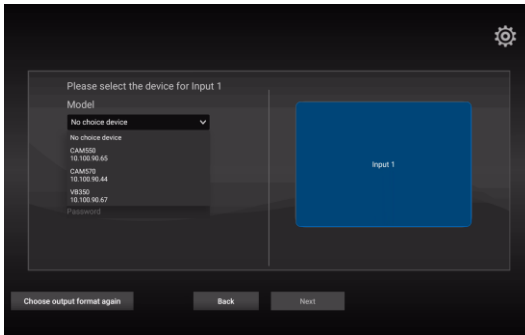
1. CP10 G2 とデバイスが同じ LAN に接続されていることを確認 します。
2. CP10 G2 上で Room Management アプリ を開きます。



3. CP10 G2 で カメラ出力フォーマット を選択します。

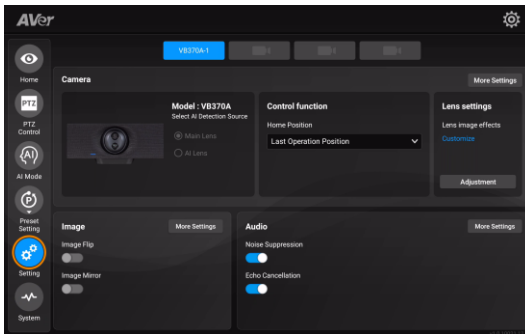


4. ドロップダウンリストからデバイスを選択し、CP10 G2 と接続します。



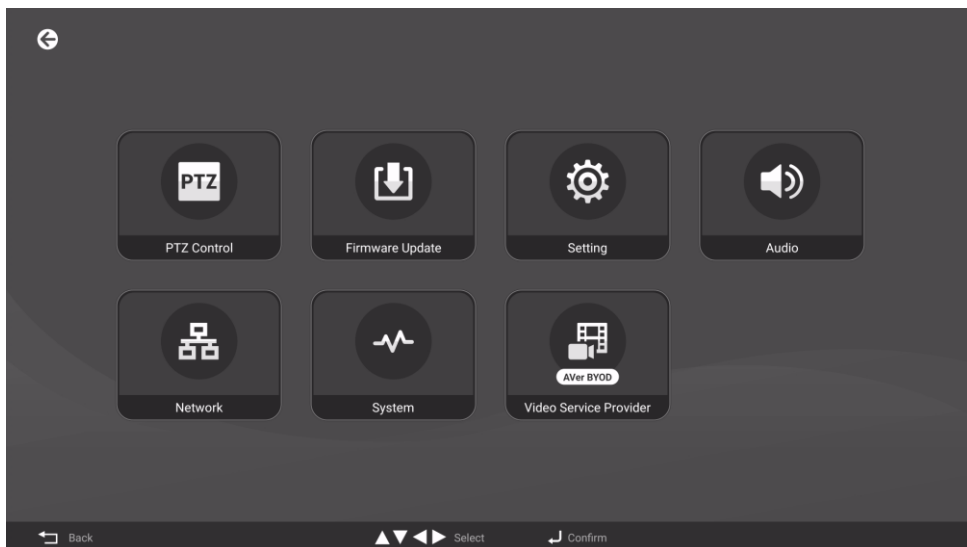
5. デフォルトまたは変更後の ユーザー名とパスワード を入力します。

6. ホーム画面で **設定アイコン** をタップし、システム設定を構成します。



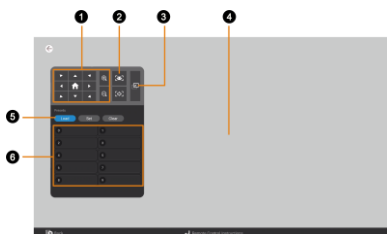
システム設定の構成

注意： 以下の説明とスクリーンショットは Android ランチャーを例にしていますが、「Access the Interfaces」章で紹介した他のインターフェースでも同様に適用されます。Zoom Room モードでは、Zoom 側で設定を管理するため、利用できる設定項目が少なくなります。

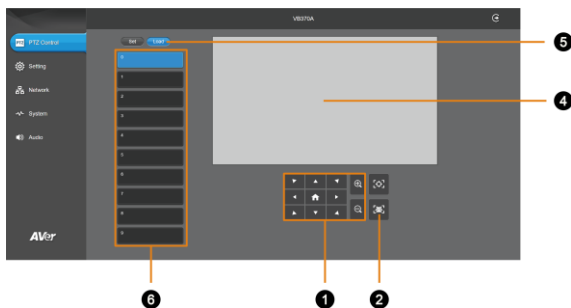


PTZ コントロール

インターフェースによって外観が多少異なる場合があります。



Android ランチャー



Web インターフェース

1. PTZ Control

🏠 **Home:**パン・チルト位置を中央にリセット

🖼️ **SmartFrame:** 画面内のグループ全体を自動でフレーミング

🔍 **One-Touch Focus:** ワンタッチでオートフォーカス

3. コントロールパネルの最小化

4. ライブビュー

5. プリセット機能

6. プリセット番号

プリセットの保存・読み込み・削除

プリセットを保存する方法

1. パン、チルト、ズームを使ってカメラ位置を調整
2. **Set** を選択し、保存したいプリセット番号を選択
3. 表示された確認メッセージで **Yes** を選択

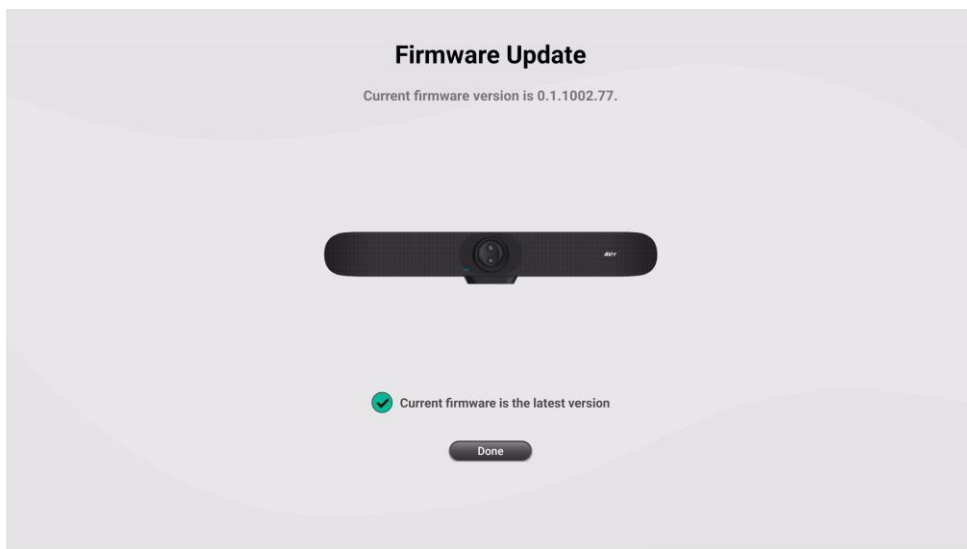
プリセットを読み込む方法

- **Load** を選択し、読み込みたいプリセット番号を選択

プリセットを削除する方法

- **Clear** を選択し、削除したいプリセット番号を選択

ファームウェア更新



最新のファームウェアを確認し、インストールできます。Web インターフェースの場合は **System > FW Update** に移動します。

注意:

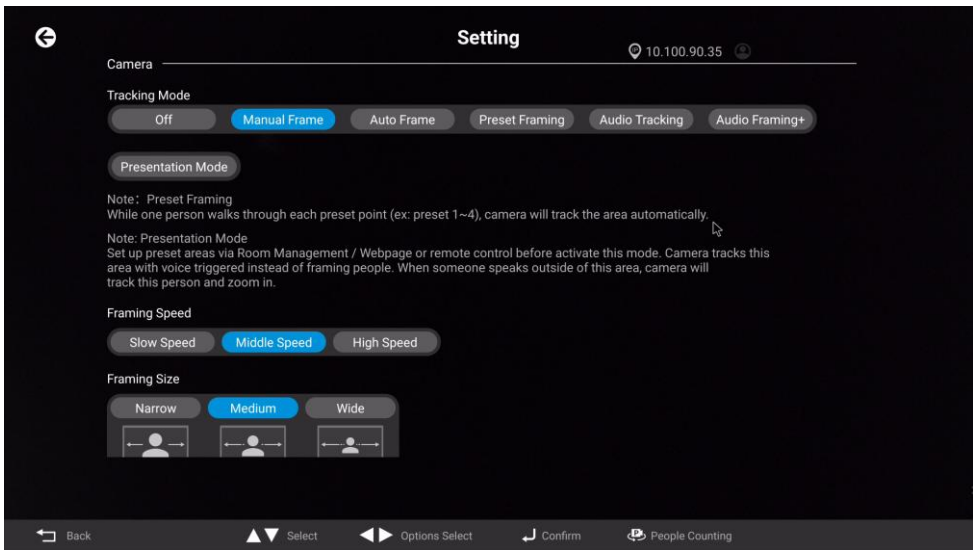
ファームウェア更新中はインターネット接続が一時的に失われます。

更新後、カメラは自動的に再起動します。

電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

更新には時間がかかる場合があります。

設定



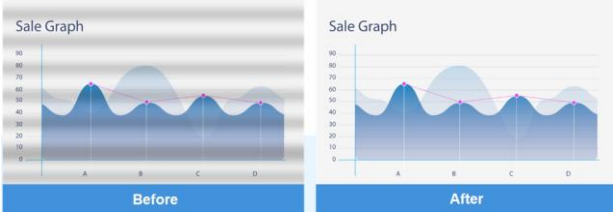
カメラ

項目	機能説明
Tracking Mode	トラッキングモードを選択します。詳細は「Tracking Modes」を参照してください。
Framing Speed	オートフレームが作動するまでの遅延時間を選択します。 ・ Slow : 5 秒後にオートフレーム ・ Middle : 3 秒後にオートフレーム ・ High : 1 秒後にオートフレーム
Framing Size	プレゼンターの背景に合わせてフレーミングサイズを調整します。
Transition Effect	・ PTZ Movement : カメラが移動する様子をそのまま表示 ・ Smart ViewShift : 移動後の最終ビューのみを表示
Audio Tracking Response Speed	音声トラッキングの反応速度を選択します。短い発話を見逃したい場合は遅延が有効です。
Audio Tracking Idle Interval	・ 音声が発検出されない場合に、全員をフレーミングするまでの遅延時間を選択 ・ OFF を選択すると、カメラは最後の位置に留まります

Conversation Mode Trigger Sensitivity	1. Audio Tracking をオンにし、スライダーで感度を調整 2. 2 人以上が話していると検出すると Conversation Mode がオンになり、全アクティブスピーカーをフレーミング（画面左上に  アイコン表示） 3. 話者が 1 人になると Audio Tracking に戻る 4. 値を 0 にすると Conversation Mode はオフ
Audio Fence	オンにすると： ・ 狭い／中／広い視野を選択し、フレーム内の声にフォーカス ・ チルト操作は可能だが、パン、ズーム、SmartFrame、トラッキングモードは無効
Audio Fence Mode	
Home Position	電源オン時にカメラが移動するホームポジションを選択
Sleep Position	スタンバイモード時に移動する位置を選択
Sleep Timer	● スタンバイモードに入るまでの遅延時間を設定 ・ USB で映像を送信中はスタンバイに入りません
On-Screen Menu	● 画面表示メニューのオン／オフ ・ Load Preset Off：プリセット読み込み以外のステータスを表示
Save Preset	● プリセット保存のオン／オフ ・ オフの場合、リモコン・Web・ホットキーでプリセット保存不可

Image

項目	機能説明
Image Flip	画像を上下反転
Image Mirror	画像を左右反転
True WDR	ワイドダイナミックレンジ（WDR）のオン／オフ

Flicker Decrease on IFP / Monitor	フリッカー軽減のオン／オフ 
Frequency	周波数を選択
White Balance	ホワイトバランス設定 ● Manual ：スライダーで手動調整 ● Auto ：自動調整
Noise Reduction	ノイズ低減レベルを調整
Brightness	明るさ調整
Sharpness	シャープネス調整
Saturation	彩度調整
Low Light Compensation	低照度補正のオン／オフ
Allow Remote Access	デバイスの Web インターフェースへのリモートアクセスを許可
Lower Resolution Options	720p 未満の解像度を許可 ● Off （デフォルト）：720p～4K のみ ● Below 720p ：帯域節約のため、会議アプリが低解像度を要求した場合に対応
Enlarge Total Zoom Up to 18x	最大 18 倍ズームの有効／無効

トラッキングモード

Manual Frame

- ・ 一度だけ、画面内の全員をフレーミングします。

Auto Frame

- ・ 自動で全員をフレーミングします（開始位置はプリセット 0）。
- ・ 誰も映っていない場合はプリセット 0 に戻ります。
- ・ 人の出入りがあるたびに自動でフレーミングを調整します。
- ・ 作動が頻繁すぎる場合は、「Framing Speed」で遅延時間を設定できます。

Preset Framing

- ・ プリセットを使ってプレゼンターを追跡
- ・ プリセット範囲に誰もいない場合は全員をフレーミング
- ・ スムーズな移動のため、プリセットは重なるように設定（1～9）
- ・ 複数のプレゼンターがいる場合、番号の小さいプリセットが優先

Audio Tracking

- ・ アクティブスピーカーを追跡
- ・ 誰も話していない場合、設定した遅延後にプリセット 0 に戻る → 遅延は「Audio Tracking Idle Interval」で設定

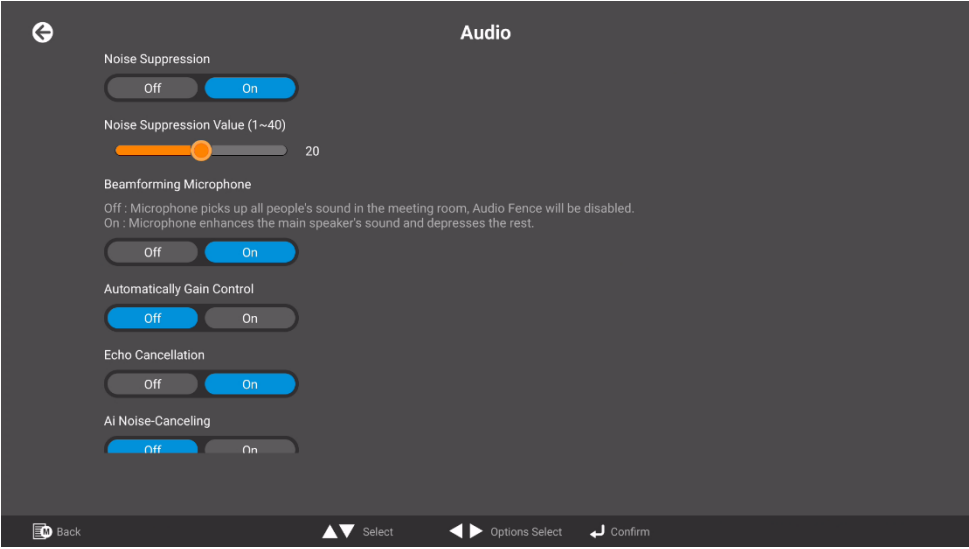
Audio Framing+

- 1 人または複数の話者を、フル画面／PIP／分割画面でフレーミング

Presentation Mode

- ・ プリセットと Audio Tracking を組み合わせたモード
- ・ 話者がプリセット内にいる場合はプリセットを使用
- ・ プリセット外なら Audio Tracking に切り替え
- ・ 誰も話していない場合は遅延後にプリセット 0 で全員をフレーミング
- ・ プリセット（1～9）の設定が必要

オーディオ



項目	機能説明
ノイズ抑制	周囲の環境ノイズを低減するための機能をオンにします。 スライダーを動かして抑制値を調整します。
ノイズ抑制レベル (1~40)	
ビームフォーミングマイク	Off：会議室内のすべての声を拾います。Audio Fence は無効になります。 On：主な話者の声を強調し、それ以外の音を抑制します。
自動ゲイン制御	遠隔側に送る音声が一様な音量になるように調整します。
エコーキャンセル	オンライン通話中に発生する反響音を低減します。
AI ノイズキャンセリング	背景ノイズを除去するための AI ベースの機能をオンにします。
残響低減	開放的な空間や空室で発生しやすい残響（エコー）を軽減します。
Phone In 端子	Phone In：スマートフォンなどのモバイル端末を Phone In 端子に接続し、VB370A を外部スピーカーとして使用できます 3.5mm External Microphone Only：外部マイクを接続し、外部マイクのみを音声入力として使用しま

す。

3.5mm External Microphone Mix In：外部マイクを接続し、VB370A のマイクと混合して音声を送信します。

Line Out：HA システム（拡声システム）に接続して音声を出します。

※本モードを使用するには、3 極（TRS）機器の音声信号を、4 極（TRRS）端子へ接続するための変換ケーブルが必要になりますので別途、ご用意下さい。

注意: Line Out モード使用時に外部スピーカーへ接続しないでください。 外部スピーカーの音が内蔵スピーカーやマイクの性能に影響を与える可能性があります。

ネットワーク

←

Network

RJ45

Static IP

DHCP

☐

If the DHCP mode can not get IP, it will change to static IP mode automatically.

IP Address

Gateway

Netmask

DNS

10.100.90.17

10.100.90.254

255.255.255.0

10.100.1.6

↶ Back

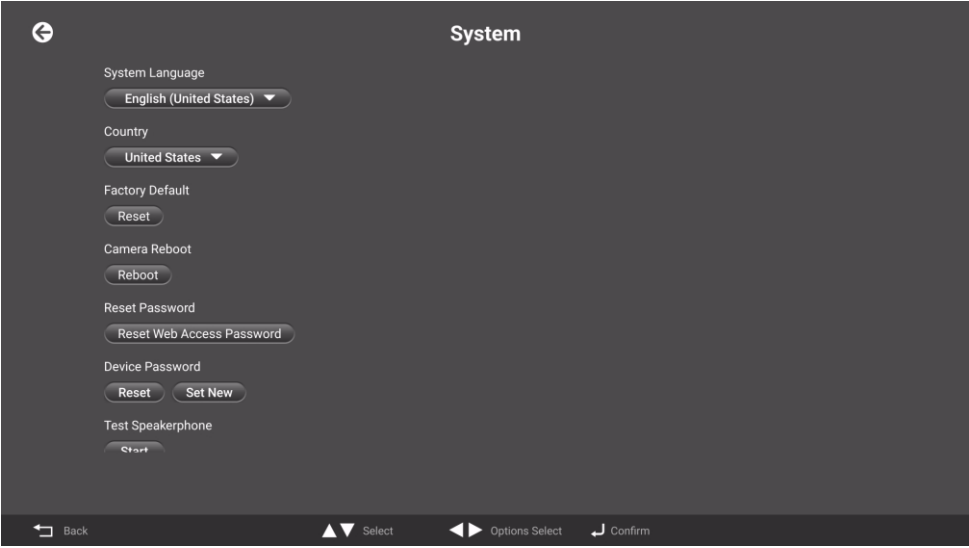
▲▼ Select

◀▶ Options Select

↵ Confirm

項目	機能説明
RJ45	ネットワーク設定を Static IP（固定 IP） または DHCP に設定します。 • DHCP（デフォルト）： 下のチェックをオンにすると、IP が割り当てられない場合に自動で Static IP に切り替わります。チェックを外すと DHCP のまま動作します。 • Static IP： 固定 IP を使用する場合はネットワーク設定を入力し、Confirm を選択します。

システム



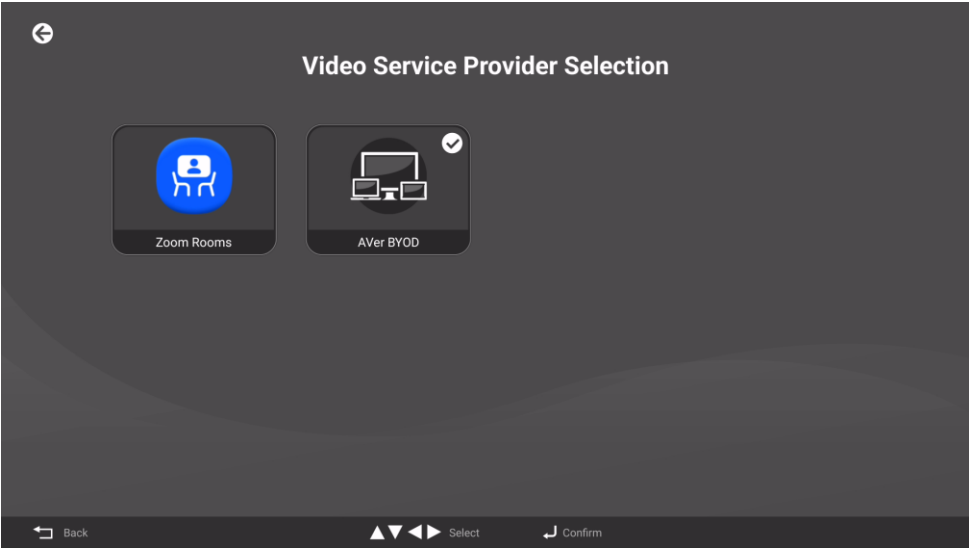
項目	機能説明
システム言語	Android インターフェースの言語を選択
使用国	国または地域を選択
Factory Default	カメラを工場出荷時設定にリセット ※チェックを入れると IP アドレスを保持できます
カメラ再起動	Reboot the camera. カメラを再起動
パスワードリセット	Web インターフェースのパスワードをリセット デフォルトパスワード：aver4321
デバイスパスワード	デバイスパスワードをリセットまたは新規設定 デフォルトパスワード：aver4321
マイクスピーカーのテスト	マイクテスト用に 10 秒間の録音を実施
Date Format	日付形式を選択
Time Format	時刻形式を選択
Time Correction Mode	時刻補正モードを選択 Auto：NTP サーバー URL を入力して時計を同期（デフォルトは米国の NTP サーバー） Manual：鉛筆アイコンを選択して手動設定
Information	IP アドレスなどのデバイス情報を表示

Web インターフェース専用設定

項目	機能説明
Video Service Provider	動作モードの選択 Zoom Rooms または AVer BYOD を選択します。
FW Update	Auto Update：オンラインでファームウェアを確認し、インストールします。 Manual Update：ダウンロード済みのファームウェアを手動でインストールします。 注意： - ファームウェア更新中はインターネット接続が一時的に切断されます。 - 更新後、カメラは自動的に再起動します。 - 電源を切ったりケーブルを抜いたりしないでください（故障の原因になります）。 - 更新には時間がかかる場合があります。
Change Password	Web インターフェースのパスワードを変更します。パスワードを忘れた場合は「Troubleshoot」を参照してください。 < Troubleshoot >.
SSL Certificate	SSL 証明書をアップロードします。

注意: これらの設定の一部は Android ランチャーにも存在しますが、表示されるメニュー名が異なる場合があります。

VB370A の動作モード選択



項目	機能説明
Zoom Rooms	Zoom Rooms で会議を開始します。
AVer BYOD	デバイスを USB 周辺機器として使用し、パソコンから会議を開始します。

パスワードを忘れた

デフォルトのユーザー名／パスワードは **admin / aver4321** です。

またパスワードを忘れた場合は、以下のいずれかの方法でリセットできます：

- Android ランチャーにアクセスし、 **System > Reset Password** を選択
- **Room Management** にアクセスし、 **Setting > Reset Password** を選択